



イシガキダイ幼魚
(幼魚の時期のみ流れ藻で生活します)

藻場は水中の楽園
(オキタナゴの群れ)



ハナオコゼ幼魚
(成魚で15cmほどに成長します)

流れ藻は魚たちのオアシス

春先に、水面を覆うほどに伸長したひも状の茶色っぽい海藻の多くはアカモクです。よく船外機などのスクリューに絡みつくことから、一昔前まで「邪魔モク」の不名誉な呼名で呼ばれました。

志津川湾では、長いもので10メートル近くまで成長するものもあります。そんなに長くてなぜ倒れないかと言えば、その全体には気胞と呼ばれる小さな浮袋を、数多く持っているからです。

今回は、そんな邪魔モクに関係した写真です。成長途中に時化^{しけ}など、何らかの原因でちぎれたこの種類の気胞を持った海藻は、沈むことなく水面を漂います。この流れ藻は、6月から8月までの間、沖合の潮目に多く見られますが、これを利用して生活する生物も多く存在するのです。言わば、流れ藻は身を隠す物のない沖合では、恰好の隠れ家となるのです。

このような海藻は、沿岸部でもちろんのこと、流れ藻になってもサンマやトビウオの産卵場所としても利用される、なくてはならないオアシスのような存在なのです。

(写真・文 水中カメラマン 佐藤長明さん)

編集後記

▶「水中楽園」は、町内在住の水中カメラマンの佐藤長明さんに寄稿をお願いしていますが、私は読者の立場で毎回楽しみにしています。▶昨年7月、佐藤さんの写真を見て、裏表紙の連載を考えました。▶「あの～、原稿料なしで寄稿を1年お願いします」と突然の依頼を佐藤さんは引き受け、8月号から連載が始まりました。▶先日「あの～、1年延長を」と図々しいお願いに、多忙にもかかわらず佐藤さんは快諾。ありがとうございます。▶今後の寄稿が楽しみな私です。担当 佐藤

●日曜当番医

8/5 南三陸志津川クリニック
☎47-2777(志津川字塩入)

8/12 上田クリニック
☎36-2316(歌津字中山)

8/19 鎌田医院
☎36-2008(歌津字伊里前)

8/26 ささはら総合診療科
☎47-1066(志津川字汐見町)

9/2 佐藤徹内科クリニック
☎47-1175(志津川字廻館前)

●第1・第3日曜歯科当番医

8/5 米倉歯科医院
☎42-2630(本吉町津谷松岡)

8/19 阿部歯科医院
☎46-5678(志津川字大森町)

9/2 大谷歯科診療所
☎44-3131(本吉町三島)

※日曜当番医は、変更となることがありますので、あらかじめ電話で確認してください。受診の際は保険証をお持ちください。